

証券市場新聞

1 第146号

日経平均株価

2万3094円67銭

▲273円35銭(前日比)

TOPIX

1728.61

▲18.59(前日比)

2018

9/17

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心齋橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



災害復興の流れに乗る

ピンチのあとにはチャンス到来



関西国際空港も早期の全面復旧が待たれる

興の進められても、復旧のペースは大きく出遅れ、前田工織(782)など、資材の不足が深刻化している。建設現場では、人手不足が深刻化している。資材の不足が深刻化している。建設現場では、人手不足が深刻化している。

が、発生したことがリスク回避の動きをよび、強める一因となった。過去の災害については、2011年の東日本大震災などを含めて、時的に大きく復旧のペースは大きく出遅れ、前田工織(782)など、資材の不足が深刻化している。建設現場では、人手不足が深刻化している。



8月30日に2万3032円17銭の高値を付けた付けた日経平均は短期的な調整と見られていたが、その後は5日や25日移動平均線をも割り込み想定外の調整となった。トラ

ンプ大統領から200億ドル規模の新たな対中関税が示されるなど通商問題が重石になっていったところ、台風21号で関西地域が甚大な被害を受け、北海道で震度7の巨大地震

直る動きとなつている。政府は総額1兆円規模の補正予算編成にも動きだしており、災害直後に買われた復興に絡む関連銘柄を含めて中長期的に見直されることになる。個別では台風21号被害時に河川、道路補強等の防災用建築・土木資材の大手である前田工織(782)など

待できる。再度の高値追いが期待できる。再度の高値追いが期待できる。再度の高値追いが期待できる。再度の高値追いが期待できる。

インバウンドも出直りへ

今年の9月からの秋相場も波乱の幕開けとなった。戦後1949年5月に取引所が再開されて以降、昨年まで9月は32勝37敗と月別で唯一負け越し。日々変化するトランプ大統領の通商問題に加えて、平成30年北海道胆振東部地震や台風21号による関西国際空港の閉鎖など想定外の大災害が続発したことも株式市場のネガティブ材料となった。しかし、過去の波乱相場後の動きを教訓にするならばピンチはチャンスであることは間違いなく、ここから狙える銘柄を絞りたい。

上昇し、震災の復興ではエコモット(3987)や土屋ホー(1840)、日建工学(9767)などが賑わっていた。加えて売られた銘柄ではインバウンド関連も見直せよう。関空が早期復旧へ向けて動きだしてきたこともあり、外国人観光客が落ち込んでいた。株価の押しが浅かったエポラブルアジア(6191)などは中期視野では再度の高値追いが期待できる。

「グリコピア神戸」リニューアル

江崎グリコ

10月1日オープンに向け予約受付



「グリコピア神戸」外観（イメージ）

西グリコ神戸フアクトリー内の工場見学施設「グリコピア神戸」が10月1日にリニューアルする。神戸フアクトリーは「ポツキー」「ブリッツ」「ビスコ」などを製造する菓子製品の主力工

場、見学施設は1988年に企業文化施設として開館した。開館30周年を迎え、総来館者数は200万人を超え、人気施設として親しまれており、この度、「ポツキー」をはじめとするグリコの製品が最新鋭の設備で製造される様子をもっと分かりやすく見学でき、お菓子の知識を楽しみながら学んでもらえるように全面リニューアルした。

リニューアルオープンに向け、インターネットと電話での見学予約を受け付けている。予約詳細はURL：<https://www.glico.com/jp/enjoy/contents/koberenewal/>

から投入した新商品が好調に推移した。公開価格16%上回る

企業レター

江崎グリコ(2206)の生産子会社、関係見学施設

ロームは急落し安値

8月売上伸び悩み減速警戒

12日、ローム(6963)が急落、年初来安値を更新した。米半導体株安の波及するなか、11日に発表した8月の月次動向で、売上高が前年同月比0.5%増ながら、前月比では0.5%減と伸びが鈍化する



ロームの日足チャート

したことで、今後の減速を警戒した売りがかさんだ。会社側は8月は稼働日が少なかつたため横ばい傾向となったが、市場は季節回復傾向が続いている。地域別では相対的にアジアの伸びが弱いとコメントしている。

公開価格60%上回る

マリオンの初値

13日、マリオン(3494)がジャダック市場に新規上場、公開価格2380円を59.7%上回る3800円で初値が生まれた。同社は賃貸用不動産の運営および管理ならびに不動産賃料収入に基づく不動産証券化商品の組成及び販売を行う。

独自増額銘柄に注目

このところの株式市場は一方通行の相場となっています。8月21日から8連騰、8月31日から6連敗、そして9月10日から4勝1敗で、この間日経平均は上下1000円幅。先週金曜日は5月高値を抜ける2万3000円台乗せとなりましたが、TOPIXが5月高値に100ポイント遅れを取っており、全面高という訳にもいきません。

週末には投資家のバイブルである四季報秋号が発売になりました。見出しランキングを見ると「最高益」が春号の184→夏号165→秋号129、「続伸」は春号169→夏号145→秋号129となっており、先行きの景気減速のシグナルなのかもしれません。注目は夏号で92だった「独自増額」が110に増加していることでしょう。慎重な会社計画を立てている会社が多く、今後、上方修正される可能性がある訳です。

転ばぬ先のテクニカル

日々勇太郎

ミサワがストップ高

第2四半期2.7倍営業増益を好感

13日3日、ミサワ(3169)がストップ高。19年1月期第2四半期累計の連結決算を発表、売上高51億4000万円(前年同期比13.8%増)、営業利益2億4800万円(同2.7倍)、純利益1億2500万円(同2.7倍)と大幅な増収増益を達成した。今シーズン

から投入した新商品が好調に推移した。公開価格16%上回る

香陵住販の初値

13日、香陵住販(3495)がジャダック市場に新規上場、公開価格1700円を15.9%上回る1970円で初値をつけた。不動産の売買、賃貸、仲介、管理などを行う。

ヤーマンはストップ高

第1四半期36%営業増益を好感

14日、ヤーマン(6630)がストップ高。19年4月の第1四半期連結決算を発表、売上高76億1600万円(前年同期比24・

9%増)、営業利益22億4200万円(同36・0%増)と大幅増収増益だった。海外部門が好調でブランドینگ投資効果が表れ始めた。

14日、ブラ(2424)は上場来安値を更新。18年7月は計画を下回り、営業利益6億9100万円(前の期比15・5%減)、19年7月も6億円(前期比13・1%減)と連続2ケタ減益を予想した。

プラス連続2桁減益

今週の動意銘柄

寺西忠幸代表取締役会長

寺西忠幸氏旭日小授章受章

麒麟堂HD

リーガロイヤルホテルで祝賀会



9月14日に「寺西忠幸氏旭日小授章受章祝賀会」(日本チェーンドラッグストア協会主催)が大阪北区のリーガロイヤルホテルで開催された。

平成30年4月29日付けで発令された平成30年春の叙勲で麒麟堂ホールディングス(3194)の寺西忠幸代表取締役会長が、旭日小授章の栄に浴し

祝賀会では、寺西忠幸氏の生い立ちからドラッグストアチェーンを確立した現在の功績を動画で紹介された。その後、寺西忠幸氏は天皇陛下から一人々の幸せのためにご尽力されることを願っています」とのお言葉を頂きましたと謝辞を述べ、今後、業界の発展と人々の健康増進に取り組むことに意欲を見せていた。

企業レター

プロが教える



法人向け保険ならお任せ！

節税対策にも最適

お客様のニーズに応じた最適な商品・ベストプランを提携保険プランナーを通じてご提案します。

詳しくはココ・パートナーズ(株)アドバイザー業務部まで。

info@marketpress.jp

潮流

米国投資家は誰も損しない

株式市場は重要な経済基盤

marKet / bAnk

株式市場の歴史において最長のブル相場となった。アメリカおめでとう！」と呟いた。

これまでのS&P500の長期上昇相場は1990～2000年に3452日続いたが、8月29日を以て2009年3月9日から続いたS&P500のブル相場は3457日続いたことになる。S&P500は8月29日には2916.50まで上昇してザラ場ベースの史上最高値を更新している。終値ベースでも史上最高値更新となった。

アメリカでS&P500に連動する投資信託を買っている投資家は誰一人損をしている人はいないのである。株を買えば損する日本と正反対である。因みに米ダウ工業株30種平均と日経平均の上昇率を2000年始めと2018年の高値を比較するとダウ平均は131%上昇と2倍以上に、日経平均は27%の上昇に止まっている。また、日経平均が過去最高値(3万8915円)を付けた1989年と2018年の高値を比較すると、38%のマイナスとなり、29年間保有しても大幅な元本割れになっているのだ。

同じ期間で米ダウ平均を見ると何と866%の上昇と9倍以上になっている。



アメリカの株式市場は過去最高値水準を維持している。トランプ大統領はツイッターで、「株

1989年に日経平均型投資信託を100万円購入した日本人は現在、62万円に減っている。一方、ダウ平均型投資信託を100万円購入した米国人は現在、966万円と大幅に資産が増加しているのだ。この価格差

が日米の国力の差となっている。日本の株式市場が米国と同様な上昇となっていたなら、年金や医療費など社会補償問題は発生していないだろう。国民の生活は様変わりしていたに違いない。日本企業も積極的な研究開発や設備投資ができていたら、ITなどハイテク関係や医薬品業界など様々な分野で中国や韓国、台湾に追い越されることはなかっただろう。日本の経済力は想像以上に高まり、日本人が豊かな生活を送れたのだ。

これをよしとしない米国はヘッジファンドを通じて日本株式市場で225先物を利用して売りを浴びせ、日本の莫大な資産を劣化させて、国力を弱めさせたのだ。日本にとって海外ヘッジファンドは「百害あって一利なし」ということだ。株式市場は非常に重要な経済基盤なのである。

潮流銘柄はラック(3857)、エンカレッジ(3682)、セック(3741)。



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

株価格差が日米国力の差

チャートから読む 騰落銘柄

KHネオケム(4189)



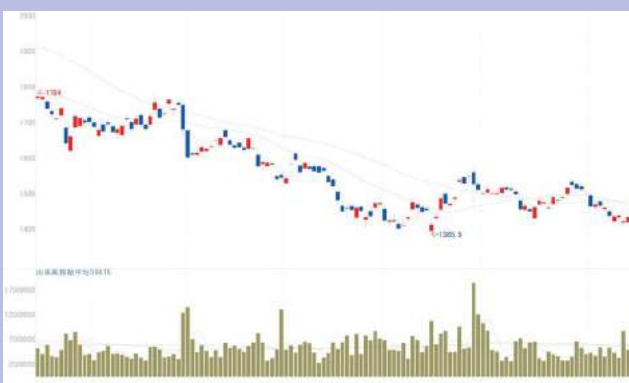
9月3日に4250円の最高値更新後に調整も25日線を下値支持線に再上昇の機を窺う。オゾン層保護など環境規制を追い風に、世界トップシェアのコンプレッサー用潤滑油原料などの需要拡大期待継続。

朝日インテック(7747)



日足陽転のあと、5日移動平均を下値支持ラインに上昇再開。株式分割を考慮した実質最高値を更新する。好業績と信用倍率0.77倍の好取組をテコに、21日の1部指定替えに向け一段高へ。

三菱電機(6503)



8月28日に1540円まで上昇した後にジリジリと下値を切り下げる。全般上昇場面でも上値は重く、7月17日の1385.5円を下回れば2016年9月15日の1228.5円まで下値のフシはない。

ツナグS(6551)



3Q大幅減益を嫌気し急落後も上場来安値圏で底練りが続く。週足も再び陰転の方向で、5日線や日足一目均衡表転換線を上回れず、降下してくる25日移動平均に上値を抑えられ一段安も。

※チャートは日足

今週の

活躍期待銘柄



エフピコ (7947)

マルチFPへのニーズ高まる

19年3月期の通期予想
 143億円(前
 期比11.0%
 増)は上振れ期
 待が高まる。昨
 年11月から稼
 働した関東エ
 コペット工場が
 ペット工場が
 力化し、エコA
 PET容器が野
 菜サラダ向けに
 拡大しているこ
 とも追い風にな
 りそうだ。(と)

エフピコ(7947)の株
 価は8月16日の5980円
 を底に上昇基調に転じてきた。
 8月8日にザラ場で付けた6
 810円を抜ければ、4月5
 日に付けた最高値7290円
 奪回が期待できそうだ。
 食品トレー、弁当・総菜容
 器の最大手でリサイクルやレ
 ンジ対応などの新機能を付加
 した製品を積極的に開発して
 いる。マイナス40から11
 0度の耐寒・耐熱性、耐油性
 などに優れた発泡ポリスチレ
 ン容器であるマルチFPはコ
 ンビニやスーパーなどで
 麺類や鍋物の秋冬商品へ
 のニーズが高まっており、

19年3月期は上ブレを期待



ダイキン工業 (6367)

大幅収益上振れ観測強まる

680億円(前
 期比5.1%増)
 と連続最高利益
 更新を見込むが、
 収益は計画を上
 回るペースで推
 移しており、第
 2四半期以降は
 5月に本格稼働
 したベトナム新
 工場も収益に貢
 献してくる。(さ)

ダイキン工業(6367)
 は青空相場を一段高に向って
 きた。
 日本冷凍空調工業会による
 と、会員企業10社合計の7
 月度家庭用エアコン出荷台数
 は前年比10.9%増、出荷
 金額は12.2%増と2ケタ
 超、業務用エアコンも8社合
 計で出荷台数が9.7%と2
 ケタ近い伸び。全国的な猛暑
 が続いた8月度はさらに出荷
 が伸びたと予想され、トップ
 メーカーの同社には大幅な収
 益上振れ観測が強まっている。
 19年3月期第1四半
 期は連結経常利益854
 億6600万円(前年同
 期比14.0%増)と2
 ケタ超の増益で
 着地。通期は2
 680億円(前
 期比5.1%増)

エアコン出荷は2ケタの伸び

日米通商協議通過待ち

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

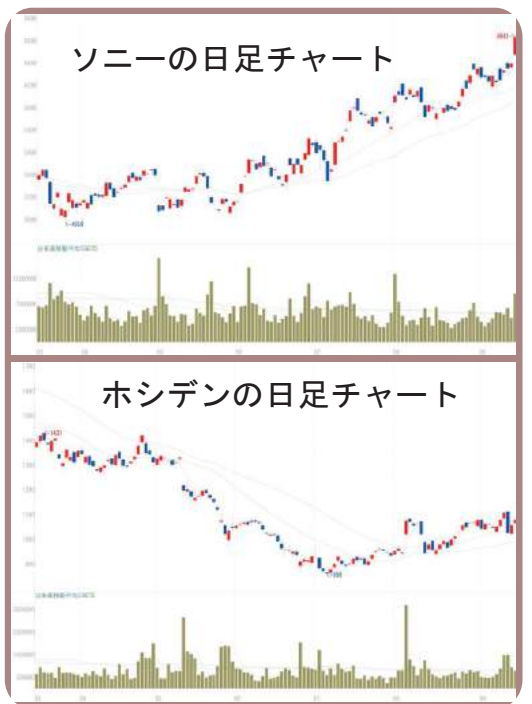
日経平均は9月7日の2万2172円90銭を底に、この欄を執筆している13日の時点で680円程度戻す動きになりました。

前回、この欄では日経平均は8月24日に開いていった2万2602円のマドをほぼ閉め、底打ちの動きになることを指摘しましたが、想定通りの動きになつていないと見ています。米国の通商問題に加え、台風による大阪での被害と北海道での地震が加わり、先行きに對して悲観論が排除できない見方が強まっています。安倍首相

ホシデンに意外高期待

による国土強靱化計画などにより、不安材料は後退してきました。日米通商協議が通過しない間は2万2500円、2万2800円の動きが続くとみるべきですが、14日のメジャーS&Pに絡む動きも12日で峠を越えましたので、2万3000円突破へ向けて次の展開を待つ段階に来ているでしょう。

指数が戻す動きになる過程で、半導体系など電子部品の下落は異常な動きになりました。外資系アナリストによるネガティブなレポートなどが嫌気されてきたようですが、こうした銘柄は今後、買い戻されるものと思われる村田製作所(6981)、ローム(6963)、オムロン(6645)、フェローテック(6890)、ブイ・テクノロジ(7717)、シャープ(6757)、SUMCO(3436)などはここからの下げは拾う価値がでてきたとみられます。



今回の狙いはソニー(6758)、参天製薬(4536)、旭化成(3407)、丸紅(8002)、ニコン(7731)、急伸したルネサス(6723)、陰の極の東ソー(4042)も底打ちが近いと見ています。

穴株的存在では、任天堂のゲーム機向けに加えて自動運転の電装ケーブルなどの需要増が期待できるホシデン(6804)に意外高を期待しています。エイチ・ツー・オー リテイリング(8242)もダメ押しの後、反発に転じており、見直される可能性があります。ありま

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式情報(これぞどや!!)
<http://www.kabun-takano.com/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の株街往来

～地方活性化の必要性～

このコラムでは6月の大阪北部地震での体験を書いたが、9月に入っては再び台風21号で被害を受け、その台風通過直後には平成30年北海道胆振東部地震が発生し、今年には災害が多い年だと改めて実感した。

台風21号では、編集部の事務所近くで駐車場の壁が崩壊したり、イチョウが倒木、信号が曲がったりとか散々な状態。これに加えて関空の連絡橋の被害はニュースで報じる通り。北海道全土での停電の苦労は現地の方でないと語れないと思うが、それでも新千歳空港の運行再開や関空での国内線一部運行再開の動きを見ると早期の復興にも期待が持てる感じた。台風通過後にはテーマパークにも予想以上に多くの外国人観光客も訪れていた。それを見ると復興に携わる方の苦労はあるが、過度に悲観はしたくないと思う。

ただ、九州から広島を経て出張から帰ってきた知人に聞くと地方の復興が全く進んでいないことを嘆いていた。高齢化が進み、若い人口が少ないなどで過疎化が進んだ弊害もあるようだ。国の活気が東京に集中した弊害が出ているような気がする。色々な問題があると思うが、地方を活性化させないと国自体が崩壊すると思ったりする。



ホテルエントランス



「ホラ×かわ」ハロウィーン テーマとしてロビィやレストランで様々なデコレーションを実施。また、レストランでは秋の味覚を使ったハロウィーンメニューを用意、ハロウィーンディナーが付いた宿泊プランなども販売している。

ロビィのフォトスポットでは、仮装コスチュームのもともキュートな「ホラ×かわ」(ホラーかわいい)をスも用意している。

近鉄グループホールディングス(9041)傘下でユニバーサル・スタジオリオ・ジャパン・オフィシャルホテルのホテル近鉄ユニバーサル・シティは11月4日まで「ホラ×かわ」ハロウィーンを開催している。

ちよっぴりホラーで、とてつもなくキュートな「ホラ×かわ」(ホラーかわいい)をスも用意している。

10億円の資金を調達

セブンドリーマーズ

パナソニックと大和ハから



セブンドリーマーズ(東京都港区、正式名称「seven dreamers la boratorie」)は全自動衣類折りたたみロボット

「ランドロイド」の製品化を目的とし、パナソニック(6752)と大和

「ランドロイド」の製品化を目的とし、パナソニック(6752)と大和

「ランドロイド」の製品化を目的とし、パナソニック(6752)と大和

企業レター

ハウス工業(1925)を引受先とする第三者割当増資により、総額約10億円の資金調達を完了した。これにより増資後の資本金は、87億円(資本準備金含む)となった。

セブンドリーマーズは、第1の事業として、独自の3D測定システムによる完全オーダーメイドの「カーボンゴルフシャフト」、第2の事業として、鼻にチューブを挿入して睡眠中の気道を確保させる医療デバイスの「ナステント」を展開。第3の事業として、世界初全自動衣類折りたたみロボット「ランドロイド」を開発している。

敬腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

225 構成銘柄主導の上昇

「アイランドリバーサル」に注意

メジャーS Q 週だった先週の 日経平均は堅調 に推移した。トランプ氏による

中国に対しての2000億

ドル分の輸入品に対しての 追加関税発動が懸念されて いたが、それもなく抵抗ラ

インの2万2500円処を 明確に抜いてくると上昇に 拍車が付いた。

225 オブション9月限 の行使価格コール2万3000

00円の建玉が1万7000 枚と突出しており、2万3000

円に近付くにつれてヘッジの先物買い が入ってきていたようで、 木曜日には大幅高となつ

今週のスケジュール

- ・14日 米8月小売売上高、米8月輸出入物価(21:30)
米8月鉱工業生産・設備稼働率(22:15)
米9月ミシガン大学消費者マインド指数(23:00)
- ・17日 米9月NY連銀製造業景気指数(21:30)
- ・18日 日銀金融政策決定会合(~19日)
米9月NAHB住宅市場指数(23:00)
- ・19日 黒田日銀総裁会見
8月貿易統計(8:50)
8月訪日外客数
米4-6月期経常収支、米8月住宅着工件数、米8月建設許可件数(21:30)
- ・20日 20年国債入札
自民党総裁選挙投開票
ゲーム見本市「東京ゲームショー2018」(~23日)
米9月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(21:30)
米8月中古住宅販売件数、米8月CB景気先行総合指数(23:00)
米10年インフレ連動国債入札
- ・21日 8月消費者物価指数(8:30)
7月全産業活動指数(13:30)

を抜いたが、TOPIXベ

14日大引けで今回のS Q値2万3057円94銭

に寄与の大きい銘柄の上昇 によるものであることが要 因であろう。

その際には2万2500 円処の抵抗線を試すことに なる。また、下値の抵抗 ラインは2万2300円処

抗ライン(1745ポイン ト処)すら抜いてきていな

「窓」を開けての下落であ

上昇に期待はできる が、チャートでいう 「アイランドリバーサル」には注意した い。木曜日の高値2万285841銭か

問題発覚以降、下げ続け てきたTATERU株がよ うやく下げ止まりの兆しを 見せてきた。ただ、企業の 不祥事・不正は枚挙にいと まがないが、メーカーの品 質、検査データ改ざんに比 べ、意図的かつ悪質で犯罪 性も疑われる。スルガ銀行 と同様に経営の根幹を揺る がす問題だけに、全容が明 らかになるまではうかつに 手を出せないだろう。

一方で、連想売りを浴び た不動産株は拾い場に来た ようだ。各社、顧客の融資 審査を通りやすいように便 宜を図っても改ざんをして いる訳ではない。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。